

青工研かわら版 8月号 vol 1



第1ブロック 第5回 ブロック会

テーマ 喜びの探究！4～健康を意識しろ！～

開催日 2022年8月18日
時間 19:30～21:40
開催場所 オンライン（Zoom）
担当者① 高田敏弘（株式会社高田金属塗装工業）
<http://takada-toso.net/>
担当者② 野田剛弘（株式会社セラリカ NODA）
<https://ceraricanoda.com>

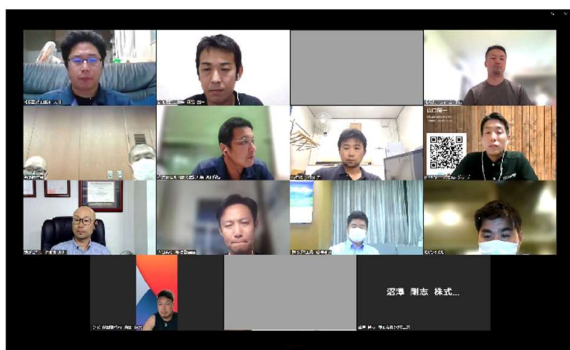
しかし、ブロック員に対して健康状態をどう管理しているか質問した所、約3割のブロック員が健康診断も受けていない、とても意識の低い状態でした。
そのため、担当者（企画者）二人だけではなく、ブロック全員で健康に対する意識を変えるブロック会となりました。

健康の意識を変える為の討議

担当者（企画者）が事前準備の2か月間で「自身の身体について改善した事」および「行動して変わった事」についての発表と、危機意識を高める為の先輩経営者の経営と健康実害の動画視聴を通じて、家族や社員等について健康の意識を変える為の討議がありました。

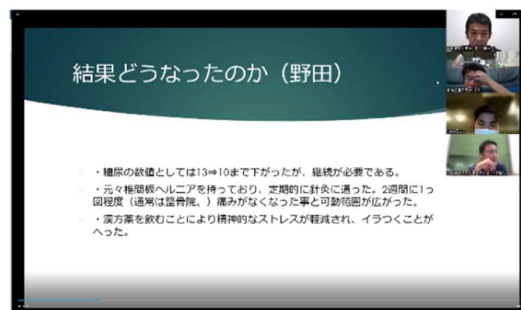
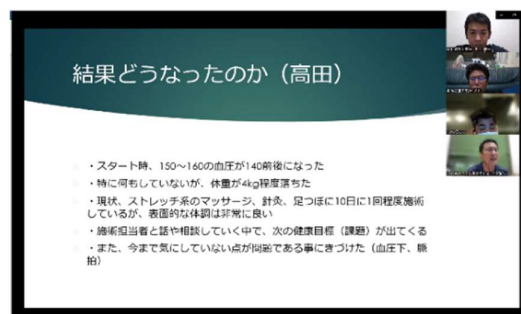
ブロック会の目的と手段

本ブロック会は、担当者（企画者）の自身および周囲への健康に対する意識を高める事を目的に行われました。



ブロック会の準備で見えてきたブロック員の健康意識

今回のブロック会の背景として準備期間の際に、本来は担当者（企画者）二人の不健康な状態の改善を予定していました。



担当者（企画者）① 高田敏弘

自分では長いと感じる2ヶ月の期間で、自身の健康と向き合ったのは初めてでした。

自身が健康になっていく事を感じられた事は、成果と考えています。また、社員や家族の健康に気を向けられていなかった事に気付けた事は良かったと思います。

健康診断の結果を糧にコミュニケーションを取って行き、健康経営を経営戦略に組み込んでいきたいです。健康経営の認定を取得する事をコミットとします。

担当者（企画者）② 野田剛弘

健康に対する活動を継続出来た事が成果と感じています。日頃から健康を意識しているブロック員の方に対して、もう少し実りのあるブロック会にしたかったと感じています。一方、健康診断の未受診の方の意識を変えられた事は成果になったと捉えています。

現在の健康改善の活動は、引き続き継続して行きます。また、社員一人一人が日々のコミュニケーションを通じて健康を維持できる様な組織作りと、健康経営の認定に向けて、重労働を担当する社員への組織づくりへの動き出しを進めて行きます。

担当者（企画者）① 高田敏弘

準備より、自身の健康への振り返りから始まり、周囲への健康の配慮まで広げられたのは、監事、役員のアドバイスのお陰です。



今回、準備、ブロック会で得られた気付き、学びを社業に落とし込む行動をして行きます。また、引き続き、自身の健康改善を実践して行きます。

今回得た学びを、社内に展開し、年内の健康経営取得を視野に入れて行動します。またペアとブロック内での健康改善の提案を行動に移して行きます。

担当者（企画者）② 野田剛弘

自身での健康への日頃の意識を変える事は出来たが、健康を意識している方への更なる上澄みの部分は、非常に弱かったので、今後の行動で巻き込めるようにして参ります。



自身の健康だけでなく、周りの社員や家族、ブロックの仲間に対して、健康を意識し、相手の行動に即する事が出来るように行動して行きます。

記者としての感想

記者：野田剛弘

経営者としての健康に対する意識はブロック内でも差が有りましたが、今回のブロック会を通して、最低限の自身の体調の管理については、自身、社員、家族、会社の事を考えなければいけないと感じました。

自分が大丈夫であるという認識は捨てて、行動していかうと感じました。